

## 1. ヒアリングで集めた、人々の想い

### 自分はSASじゃない！

診断結果や治療に納得できない。  
CPAPを続けるのが大変です。  
SASドライバーの負担が重すぎると思う。  
(職業ドライバーAさん)

医師だけでは治療はできません。  
大事なのは患者さんです。

(千葉大学名誉教授 磯野史朗先生)

事故が起きてから、対策をする事業者  
が結構多い。このようなケースはあっ  
てはならない。

(NPO法人ヘルスケアネットワーク 作本貞子様)

事故で亡くなった方の周囲の方はもちろ  
ん、事故を起こしてしまった人にも**大き  
な心の傷**になる。事故の報道等により悲  
しむ人々を見て、**事故は起こしてはいけ  
ない**などという思いが強くなった。その思  
いのもとでSAS対策を行っている。

(三和運輸機工株式会社 中山学様)

## 2. 課題

ペルソナ 症状の有無にかかわらず検査を行う  
トラックドライバーさん

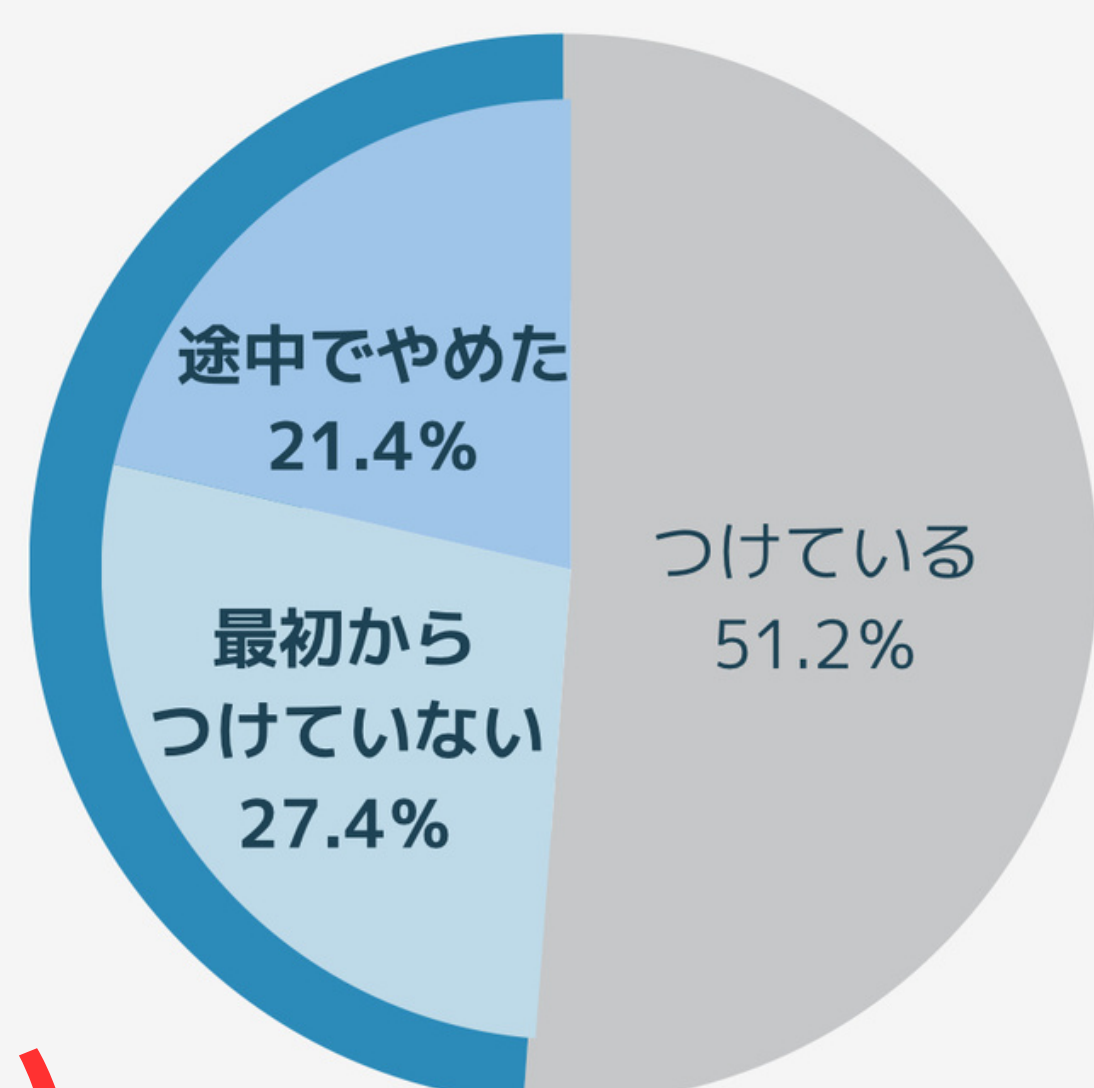
問題 検査結果に疑いを持ち、  
CPAPを続けられないこと

課題 検査結果提示時に数値の情報しか  
提示されず、**症状を体感できないこと**

## トラックドライバーのCPAPの着用状況

対象：CPAP装着の指示を受けた人  
質問：現在CPAPをつけていますか？ N=336

現在つけていない  
48.8%



一般患者よりも**離脱率が高い**

〈参考文献〉

全日本トラック協会 SASスクリーニング検査後のフォローアンケート  
[https://jta.or.jp/wp-content/themes/jta\\_theme/pdf/publication/sas\\_anke.pdf](https://jta.or.jp/wp-content/themes/jta_theme/pdf/publication/sas_anke.pdf)  
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌  
閉塞性睡眠時無呼吸症患者のCPAP治療後早期訴えと中止理由の解析  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsrccr/28/3/28\\_417/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsrccr/28/3/28_417/_pdf/-char/ja)  
(いずれも最終閲覧 2023年11月22日)

## 3. 解決策：無呼吸リスニングの導入

### 01 音を聞く

睡眠時の音声を聞き、無呼吸の長さといびきの音の大きさを確認

### 02 息を止める

無呼吸時の音声に合わせて息を止め、SASの危険性を体感

### 03 聞き比べ

治療前とCPAP着用時の音声を聞き比べ、治療の効果を実感

## 4. これまでの社会への働きかけ

### 無呼吸リスニングの実証調査の決定

御協力：三和運輸機工株式会社様

アンケート① 対象：無呼吸リスニングを行なった直後のドライバー

アンケート② 対象：無呼吸リスニングを行なって1ヶ月経過したドライバー

実施期間：約1年間

### 無呼吸リスニングを行う前後で4点を比較する

- 使用時間の変化
- 治療継続のモチベーションの変化
- 治療に対する理解度
- 心理的負担の増減

## 5. これからの展望

2024

1

### 実証調査

効果と医師の負担をアンケート調査

2025

2

### 分析・改善

数値化し、エビデンスを固める

20XX

3

### 発表

研究会や学会などで、調査結果を報告

20XX

4

### 導入

全国的に普及させる

## 6. 私たちの想い

時には困難を感じ、不安が募る日もあった。しかし、一緒に活動してきたi-GIP kantoの中高生、メンターの方々、ヒアリングを通じて**出会った人々の支えによって5ヶ月間全力を出し切れた。**

活動を通じて、最も大切なのはペルソナに向き合うこと、相手の想いに**寄り添う**ことであると学んだ。

ドライバーさんの中には「治療法や病気に納得できないから」「どうせ大丈夫！」と言って現在治療を行っていない方もいる。しかし、彼らの危機感の不足が一瞬にして自分や周りの人の**命を奪う**かもしれない。失った命は二度と取り戻せない。人を傷つけてしまったという**心の傷も一生治らない**。目の前のペルソナをこれ以上自分や周囲を傷つける**リスクにさらしたくない**という思いが私たちの活動の**原動力**だ。同じような想いを抱える人々との出会いが、私たちの想いをより強くしてきた。

私たちは、SAS患者自身と交通事故に巻き込まれる人々の**命を守りたい**。そして、彼らと共に**明るい未来を創っていく**。